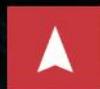


# クイックサービスレストランマー ケット インド2025



# まとめ

インドの食品サービス業界は、現在約800億米ドルと評価されており、大きな経済的機会となっています。この成長は主に組織化されたセクターによって牽引されており、現在市場全体の約45~50%を占めており、2030年までに60~70%に達すると予想されています。1市場全体は、2030年までに1,440億~1,520億米ドルに成長すると予測されています。2

成長は、オンライン食品配達とオフラインの組織化されたダイニングという2つの主要セグメントに分かれています。

インドの外食産業で台頭するQSR。QSRは組織化された外食産業において支配的な勢力として台頭し、変革の重要な局面を迎えています。シンプルなファストフード店として始まったQSRは、スピードと品質、そして革新性を両立させた洗練されたダイニング体験へと進化を遂げています。

インドのQSR市場は2023年に約60億米ドルと評価されました。3 2025年末までに約90億米ドルに達すると予測されています。4

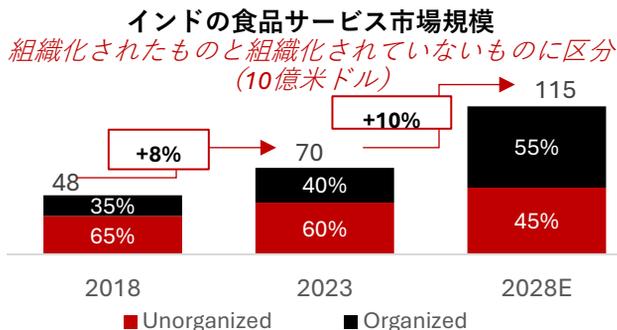
大手QSRブランドはインド全土で急速に存在感を拡大しており、店舗の50%以上が上位25都市に集中している。5 例え、

- ドミノ・ピザは過去5年間で750店舗以上を増やし、店舗数は1,700を超えました。6
- KFC、ピザハット、サブウェイ、バーガーキングなどの他の大手企業も、それぞれ350~1,000以上の店舗を展開し、大きな存在感を確立しています。7
- マルチブランド企業（ハウス・オブ・ブランドまたはHoB）は特に成功しており、単一ブランド企業に比べて平均収益が2~3倍高くなっています。8

消費者の嗜好の変化が進化の核心となっています。今日の消費者は、単に手軽な食事以上のものを求めています。品質を損なうことなく利便性を求め、多様な料理の選択肢を求め、パーソナライズされた体験をますます重視しています。こうした消費者の期待の変化により、QSR（クイックレストラン）は提供内容とサービスモデルの見直しを迫られています。特定のセグメントでは著しい成長が見られ、2023年から2024年にかけて、ピーク時以外の消費は31%から37%に、デザートと飲料の消費は20%から31%に増加しました。9

同時に、サステナビリティは単なる流行語からビジネス上の必須事項へと変化しました。現代の消費者は環境意識と社会意識が高く、QSR（クイックレストラン）には環境に配慮した取り組みの導入、責任ある食材調達、そして地域社会への積極的な貢献が求められています。

業界が進化し続ける中で、成功するQSRとは、革新性と伝統、効率性と品質、収益性と目的を効果的にバランスさせ、今日の目の肥えた消費者の価値観やライフスタイルに響くダイニング体験を生み出す企業となるでしょう。



組織化された食品サービス市場の成長は、オンライン食品配達と組織化された店内飲食の両方によって牽引されている。

オンラインおよびオフラインの食品サービス市場規模 (金額ベース)  
(10億米ドル)



1, 2, 3, 4, 5. スウィギー-DRHP, レッドシーアレポート, 2025年1月

6, 7. クイックサービスレストランレポート, アンビットキャピタル, 2024年7月

8, 9. ビッグバイト, レッドシーアレポート, 2025年1月

# 主なハイライト

QSRはFSIの重要なセグメントであり、準備時間が短く、メニューが限られており、手頃な価格に重点を置いたファストフードを専門としています。

- 迅速で効率的なサービス、手頃な価格、そして一貫した品質
- 国際ブランドの急増
- 都市部の消費者の忙しいライフスタイル
- 強力なサプライチェーンがネットワークの急速な拡大を促進

イックサービスレストラン (QSR) は、インドにおける組織化された外食産業 (FSI) の中で2番目に大きなセグメントです。

**2025年末までに約90億米ドル、年平均成長率約9%**

出典: 1Lattice レポート  
「Feast and Fast」、  
QSR India 2025

チェーンレストランとQSR市場は、食品サービス市場の中ではるかに速いペースで成長しており、今後も成長が期待されています。

## インドの食品サービス業界のセグメント別成長

年平均成長率	2010～2015年度	15～20年度	2020～25年度 (予)	2010～2020年度	2010～25年度 (予)
チェーン	21%	18%	20%	20%	20%
ホテル内レストラン	10%	8%	5%	9%	7%
クイックサービス	29%	19%	23%	24%	24%
カジュアルダイニング	18%	19%	19%	18%	18%
カフェ	16%	8%	10%	12%	12%
アイスクリームパーラー	15%	16%	17%	15%	16%
PBCL	25%	22%	16%	23%	21%
高級レストラン	5%	3%	2%	4%	4%

出典：サファイアフーズDRHPに掲載されたテクノパックの調査、アンビットキャピタルの調査

オンライン食品注文の増加、QSRによる価格中心のアプローチ、そして消費者のライフスタイルの変化がQSR業界の原動力となっている。



### オンライン配送アグリゲーター

SwiggyやZomatoのような配達およびテイクアウトサービスのプラットフォームは、レストランが顧客基盤を拡大し、売上を伸ばすために不可欠なものとなっている。



### 価格中心のアプローチ

ミレニアル世代は人口の65%を占め、手頃な価格で質の高い体験を求めています。QSRはコストと体験のバランスが取れており、このターゲット層にとって最適な選択肢です。



### フランチャイズの機会

国際ブランドは、チェーンQSR店舗数の約50%を占めています。国際ブランドの90%はフランチャイズモデルを採用しており、国内ブランドも同様のモデルを採用しています。<sup>10</sup>

出典：サファイアフーズDRHPに掲載されたテクノパックの調査、アンビットキャピタルの調査

# 主要プレイヤー

400以上  
インドのQSRブランド



- 主要なQSRブランドはマスターフランチャイジーによって所有されている**  
3つのフランチャイズハウス(Jubilant Foods、Sapphire Foods、Westlife Foods、Devyani Foods)が、KFC、ピザハット、ドミノズ、バーガーキング、マクドナルドなどの大手企業のフランチャイズを所有しています。
- ドミノ・ピザは市場のリーダーです**  
  - Domino'sは収益貢献度が約50%でこのセグメントをリードしています。
  - 2024年6月現在、ドミノ・ピザは店舗数が2,000店を突破しました。
- インドでは7つのQSRブランドが5,000店舗以上を運営している**  
  - ドミノ・ピザ、ダンキンドーナツ、ホンス・キッチン、ポパイズを運営するジュビラント・フーズは、インド全土で約3,000店舗を運営している。
  - KFC、ピザハット、コスタコーヒーを所有するデビヤニ・インターナショナルは、インド全土で約1,800店舗を運営しています。

## インドの上場QSRブランド7社

会社名	収益 (2023年) (百万米ドル)	時価総額 (10億米 ドル)	株価収益率 (TTM)
ジュビラントフーズ	600	3.7	143.29
デヴィヤニ・インターナショナル	350	2	156.82
ウエストライフフーズ	270	1.5	143.9
サファイアフーズ	270	~1	45.87
レストランブランド	240	0.6	-
バーベキュー・ネーション	143	0.3	-
コーヒーデイベンタープライズ株式会社	120	0.2	103.19



- 国内ブランドはPEおよびシリーズ資金調達の支援を受けて拡大している**  
  - Curefoods、Samosa Singh、Burger Singh、GoPizzaなどの新世代の国内企業が第2層都市に進出している。
  - ビギーズ・バーガーは、インド東部に重点を置き、2026年までにさらに250店舗以上をオープンする計画だ。

# 主な傾向

## ▲ HoB) の台頭

インドの多様な食文化は、地域や世界の味覚の影響を受けており、食品業界におけるハウス・オブ・ブランド

(HOB) の台頭を牽引しています。HOBは効果的に商品を多様化し、多様な消費者の嗜好に対応し、市場リーチを拡大します。複数の料理ブランドを一つの傘下に収めることで、単独のブランドに比べて5倍の収益を生み出します。

HOBは、食品サービスを拡大するための最良の方法として浮上しています。

インドでは、リソースを効率的に活用し、食事時間帯や料理の枠を超えて、より大きな総対象市場(TAM)に対応できる企業が増えています。

## インドを代表するブランドハウス (HoB)

<b>CUREFOODS</b>	    <b>FROZEN BOTTLE</b> 
<b>DEVYANI INTERNATIONAL LIMITED</b>	   
<b>EAT CLUB</b>	 <b>BOX8</b>  <b>mealful rolls</b> <b>MOJO</b>
 <b>JUBILANT FOODWORKS</b>	 <b>POPEYES</b>  <b>HONG'S KITCHEN</b>
<b>REBEL FOODS</b>	   <b>Faasos</b> 
 <b>SapphireFoods</b>	 
 <b>SPECIALITY RESTAURANTS LTD.</b>	 <b>Oh! Calcutta</b> 

## ▲ スケーラビリティ

- 企業の約1~2%が、複数ブランドモデルによって5,000万米ドルを超える規模に成長しました。
- 大企業は、新規店舗の増設による既存店売上高(SSSG)の伸びが頭打ちになっている。
- 新たな成長の波を牽引するブランド買収

## ▲ クラウドキッチンの台頭

マルチブランド企業では、クラウドキッチンモデルがより速い成長軌道を描く傾向があります。

- クラウドキッチンは、店内飲食に重点を置く企業に比べてコストが低い共有リソースを活用するため、クラウドキッチンあたりの収益が高くなります。
- クラウドキッチンはプラグアンドプレイモデルでブランドを迅速に拡大する一方、ダイニング企業はほぼゼロからの開発を必要とするフランチャイズを通じて拡大する。
- クラウドキッチンは、単一のキッチンから複数のブランドにサービスを提供することで、すべての食事スロットの利用率を高めます。

## ▲ ダークカフェの台頭

Zomato傘下のBlinkitは素早い配達のためにBistroを立ち上げ、SwiggyはSNACCを立ち上げた。

- スウィギーは、クイックフードデリバリーのボルトが、2024-25年度第3四半期(2025会計年度第3四半期)のフードデリバリー収益の約9%を占めたと発表した。
- 2月にZepto Cafeの1日あたりの注文数は10万件を超え、前月比100%の成長を記録しました。



## T&Aについて

**T&Aコンサルティング (T&A)** は、多分野にわたる戦略アドバイザーおよびコンサルティング会社です。主要市場全体で外国政府や各国の貿易投資代表者として活動することから、南アジアの学生や人材募集に関する戦略の策定と実施を大学に支援すること、拡大するインドの顧客ベースに世界的に魅力的な観光地を宣伝することまで、経済開発の専門知識を有しています。また、数百社に及ぶ国際企業やクライアントと関わり、インド、さらに最近では米国、カナダ、中東への市場参入を支援してきました。

当社は 2006 年にインドで設立され、世界中の政府経済開発機関、企業、学術機関にとって信頼できるアドバイザーとして急速に高い評価を獲得してきました。

私たちの強みは、幅広い業界知識を活用し、クライアントの貿易・投資機会の獲得を支援することです。60名以上の専任プロフェッショナルを擁するチームは、ニューデリー近郊のグルグラムにあるグローバル本社を拠点とし、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、そして南北アメリカ大陸のクライアントにサービスを提供しています。さらに、南北アメリカ市場向けにはカナダにオフィスを、ヨーロッパおよび中東市場に特化したクライアント向けにはロンドンとドバイに代理店を構えています。

T&Aは、国際ビジネスにとって世界で最も複雑な市場の一つであるインドにおけるビジネス展開の課題を背景に設立され、成長を続けてきました。EDO（経済開発機関）のクライアントからは、当社のプロフェッショナルリズム、粘り強さ、そして適応力が高く評価されています。現在、当社はヨーロッパと南北アメリカ大陸において、一部のクライアントの代理業務を行っています。著名なコンサルティング・経済開発機関（EDO）と競合しながら、業界との強固なネットワークと協力関係を構築し、潜在的なクライアント、パートナー、そして投資対象を発掘・評価する上で、貴重な洞察とサポートを提供しています。

T&Aにとって、顧客維持は大きな誇りです。私たちは最初から常に時間をかけて、お客様のニーズを深く理解するよう努めています。しかし、それと同じくらい重要なのは、お客様と共有する専門知識と経験です。それが戦略的なプランの策定と、真に成功するパートナーシップの構築につながります。



私たちはT&Aです。私たちはそれ  
以上のことをします

## グローバルネットワーク



組織は、大きく分けて次の5つの主要な部門に分かれています。

**対内投資:** 対内投資の専門知識は、IPA 向けの戦略計画の策定と実行から、継続的な市場内での代理業務、機会の追跡、リードの生成、デジタル マーケティングのサポート、訪問代表団やロードショーを含むイベント管理の提供まで多岐にわたります。

**調査、市場参入、そして開発:** 当社の調査・情報収集能力は、世界中の多くの経済開発機関 (EDO) の限られたリソースを補完し、EDOが輸出業者に対し、個別または貿易代表団や展示会などのグループ活動を通じて、包括的なセクター調査と専用の市場参入・開発サービスを提供できるよう支援しています。民間企業との業務の多くは、世界各地の信頼できるEDOとのパートナーシップを通じた直接の紹介によるものです。

**高等教育:** T&Aコンサルティングは、南アジアへの進出に特化し、複数の外国政府とその高等教育機関 (HEI) に対し、学生の流動性、そして近年では特にインドにおける新教育政策導入後のパートナーシップによる成長機会について助言を行ってきました。当社は多数の大学の代理人を務め、エージェントや大学との関係を監督・管理し、複数の採用イベントに出席するとともに、政府の政策、コース設計、高等教育の新たな動向について、大学の国際チームや教員に継続的な指導を提供しています。

**観光:** T&Aコンサルティングでは、アジアやオセアニアの一流観光ブランドと長期にわたる関係を築いており、オペレーターや専門のツアー会社と緊密に連携して、インドでの成長戦略を指導し、より多くの観光やビジネスイベントを目的地に誘致できるよう支援しています。

**デジタルエンゲージメント:** T&Aの新しいデジタルエンゲージド (DE) チームは、経験豊富なリサーチ・インテリジェンスチームと連携し、T&Aのデジタルセクター出版物や雑誌、ソーシャルメディアチャンネルを通じて市場に関する知識とトレンドを共有しています。また、経済開発分野のあらゆる分野のクライアントや民間企業と連携し、キャンペーン、イベント、ハイレベルな市場訪問など、マーケティング支援を提供しています。

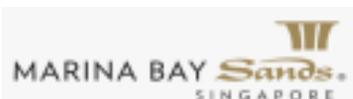
## EDOクライアント



## 教育



## 観光



**T&Aコンサルティング  
インド**

タルン・グプタ氏

グローバルマネージングパート  
ナー

[tgupta@taglobalgroup.com](mailto:tgupta@taglobalgroup.com)

(+91) 124 4314960

**T&Aコンサルティング  
アメリカズ株式会社**

サウラブ・カンナ氏

マネージングパートナー

[skhanna@taglobalgroup.com](mailto:skhanna@taglobalgroup.com)

(+1) 437 9838483

**T&Aコンサルティング  
英国代表事務所**

バリー・クラーク氏

コンサルティングパートナー  
- 国際市場

[bclarke@taglobalgroup.com](mailto:bclarke@taglobalgroup.com)

(+44) 77727 26449

**T&Aコンサルティンググロー  
バル**

**FZ-LLC - アラブ首長国連邦**

プージャ・ダヤルさん

エンゲージメントマネー  
ジャー - MENA地域

[pdayal@taglobalgroup.com](mailto:pdayal@taglobalgroup.com)

(+971) 50 6190351

**T&Aコンサルティング-インド：グローバル本社**

416、タワーA、エマールデジタルグリーン、ゴルフコースエク  
ステンションロード

セクター 61、グルグラム122001 | インド

**T&Aコンサルティング-インド：ベンガルールオフィス**

ワーカフェラ ビジネスセンター、150/1、インファントリーロード、  
Vasanth Nagar、バンガロール、カルナータカ州 560001 | インド

**T&Aコンサルティング-アメリカズ株式会社**

スイートNo.501、シティセンタードライブ77番地

ミシサガ ON L5B1M5 | カナダ

**T&Aコンサルティング-英国代表事務所**

124 シティロード、ロンドン

EC1V 2NX | イギリス

**T&Aコンサルティング GLOBAL FZ-LLC - アラブ首長国連邦**

VUNE0822、コンパスビル-アル・フライラ、アル・フライラ工業団地-FZ、

ラス・アル・ハイマ | アラブ首長国連邦

[www.taglobalgroup.com](http://www.taglobalgroup.com)

[contact@taglobalgroup.com](mailto:contact@taglobalgroup.com)

ソーシャルメディアでフォローしてください



私たちとつながる